

# 長野の林業

令和元年10月10日発行  
長野の林業編集委員会

## No.357

もくじ



ビックリタケ	1
<b>特集</b> まつたけ指導者研修会開催	2
IWEMM 10の開催告知	
トビックス	3
都市との交流イベント 木曾	
里山リーダー育成事業講習会	
頑張る現場情報	4
コラム 苗木を知ろう	5
スマート精密林業技術現地検討会 北信	
お知らせ	6
森林保険／伐木特別教育補講のお知らせ	
県森連だより	7
長野県の木材市況	8



**ビックリタケ** 林業総合センターと信州大学農学部で開発した大型クリタケ。通常クリタケの3～5倍の重量となる。現在根羽村で実証試験中。

(写真左上：ビックリタケと通常のクリタケ、写真右下：原木から生えたビックリタケ)

写真提供：信州大学 福田正樹教授

## 「まつたけ指導者研修会」を開催しました

この時季、ほとんどの方が関心のあるまつたけの発生！今年は、八月三十日に長野県を代表するまつたけの大家である藤原儀兵衛氏から「まつたけ山の取組み」と題してご講演をいただきました。

自分の山でまつたけ生産を実践しておられる作業の様子や山の状況をパワーポイントによりわかりやすくお話しくださいました。

増える一方の松くい虫被害への対応やケロウジ・クロラツパタケなどの退治、松の木の根切りの技術やこの根に二年目の春にまつたけの胞子が付くこと、胞子の飛散は二メートル四方ぐらいではないか、シロの一つを公開したところ百三十名ぐらいの方が見に来られ、まつたけ山でなく、まつたけ畑だという感想を漏らされたとお話。

しばかきは絶対に必要、生の松は切らない。切ってしまったら復活するのに二十五年ぐらいは必要で大変なことなど実践に裏打ちされたお話がございました。

当研修会は長野県林業総合センター大研修室においておこなわれ、参加者は百二十名ほど、各地域でまつたけを生産されている方がほとんどでした。当日はこのほか、今年の十月二十日から二十五日まで諏訪市を中心に行われる「食用菌根性きのこに関する国際ワークショップについて」森林総合研究所 研究ディレクター 山中高史氏からその内容についてお話があり第十回目の世界大会であることなどの講演をいただきました。

最後に県林業総合センター特産部主任研究員 片桐一弘氏から当林業総合センターでの菌根性きのこに関する研究事例としてホンシメジの増殖技術が紹介されました。

午後は、まつたけ山管理士認定試験が行われ十六名の受験者全員が合格して修了となりました。研修を通じて「里山で小さくてもきらりと光る」ものを感じた有意義な研修でした。

講師 藤原儀兵衛氏 ▶

会場内の様子 ▼



【長野県特用林産振興会】

## 第一〇回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ(茸と私たちの暮らし)を開催します

前述の「まつたけ指導者研修会」の記事にもありますが、今月諏訪市他で「第一〇回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ」が開催されます。このワークショップは国際的な研究交流のみではなく、食と「きのこ」に関する普及啓発も目的としていることに特色があります。この一環として研究者以外の一般の方々も対象としたプレワークショップが開催されます。午前中の講演では地元諏訪市でマツタケ生産に取り組まれる金井隆氏からご自身の豊富な経験に基づくお話、そしてワークショップ国際委員会事務局長であるアレクシー・ゲレン・ラゲット博士からは日本語による世界的な野生きのこに関するお話をお聞きすることができます。



また「悠善」代表の丸山大輔氏による「きのこ」を素材とした創作料理の試食会、そしてアメリカ、スイス両国から来日される映画監督は、日本初公開となる「きのこ」に関するドキュメンタリー映画を上映します。このように学術・食・芸術にわたる盛沢山なワークショップが行われます。皆様お誘いあわせの上是非ご参加ください。心よりお待ちしております。

○日 時 一〇月二〇日(日) 一三時～一六時半

(入場無料・事前申し込み不要)

○会場 諏訪市文化センター大ホール及びびろワイエ

○主催 第一〇回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ実行委員会

○問合せ先 長野県林業総合センター特産部

電話 0263-5210600(代表)

【ワークショップ実行委員会】



# 都市との交流イベント 「みよし市友好の森ふれあいツアー」

8月24日(土)木曾町三岳にある「みよし市友好の森」で友好の森ふれあいツアーが行われました。

「みよし市友好の森」は、愛知県みよし市が水源の源である愛知



クマ剥ぎ防止テープ巻き



初めての伐倒

用水(木曾川)の水源保全のほか、「地域環境への貢献」「環境教育の向上」の目的から、木曾町(旧三岳村)の御嶽山麓にある森林を平成3年度と11年度に合わせて約38haを取得したものです。

平成15年から、友好の森ふれあいツアーが毎年開催されており、親子を含む市民等が、間伐作業、森林散策、木工、御岳ロープウェイ乗車などを行っています。

今年は、約30名が参加され、友好の森のヒノキ林の間伐やクマ剥ぎ防止のテープ巻き体験が行われ、地域の指導員らとともに、さわやかな森林の中で、心地よい汗を流し、楽しいひと時を過ごしました。

【木曾地域振興局林務課】

# 「里山整備利用地域リーダー 育成事業講習会を開催しました」

九月十日(火)に長野県林業総合センター大研修室におきまして、長野県林業士会の役員、会員及び各地域振興局職員二十五名に対して、長野県森林づくり県民税を活用した取組である「里山整備利用地域」でのリーダー育成事業講習会を実施しました。

講師の長野県林務部森林政策課齊藤方彦氏、信州の木活用課上田岳義氏から、里山整備利用地域の制度や進め方、関わり方などをパワーポイントによりわかりやすくお話していただきました。

里山整備利用地域での取組は、第3期森林づくり県民税の注目事業であり、地域の主体的な里山の整備・活用を推進するため、県は地域住民等が立ち上げた地域協議会の自主的・継続的な活動を支援しています。

今回、講習を受けていただいた方々は、各地域で里山整備等に関わっている地域のトップランナーです。地域のリーダー役、又はコーディネーター役として地域協議会等に関わって頂き、身近な里山の課題解決のために活躍されることを期待されます。

参加者からは、まだこういう制度が浸透していないのではないか。誰が主体的に進めるのか考える必要がある、リーダーに求められる役割とは何かなど有意義な意見交換がされました。



会場内の様子



講師からの説明

本事業につきましては、リーダー等を育成する講習会だけでなく、地域の活動を支える地域住民への技術講習や安全研修などにも活用が出来ます。ご興味のある方は一般社団法人長野県林業普及協会までお問い合わせをお願いします。

【一般社団法人長野県林業普及協会

Tel: 026-226-5620】



## 「最前線！主伐現場リポート」

近年、佐久地域では「皆伐による主伐」に取り組む事業者が増えています。

今回、佐久穂町で主伐と再造林に取り組んでいる南佐久北部森林組合の島崎和友参事にお話を伺いました。

主伐が多くなったのは、佐久穂町の林業創生戦略研究会により「町の森林を50年先の未来へ健全で元気な姿で引き継ぐ」ことを基本理念とした「佐久穂の森構想」が平成27年度に策定されたことがきっかけだと言います。

構想では、戦後の一斉造林により著しく偏った林齢構成を改善するため、「計画的な主伐と再造林により林齢を平準化し、循環利用型森林を育成する」ことを定め、平成27年度から、佐久穂町有林で毎年約20haずつの主伐・再造林を町内林業事業者が実施しています。

主伐に取り組んで5年程経ちますが、大きく2つの変化を感じます。

ひとつは、以前の間伐現場では、林内にブルドーザが入って集材していましたが、主伐現場ではプロセッサ、フォワーダなどの高性能林業機械による作業システムが定着したことです。

もうひとつは、森林所有者の意識が「間伐から主伐」へ変化



現場ではグラップル(作業道開設、集材・地拵え)、プロセッサ(造材)、フォワーダ(集運材)が定番となっています。



地拵えの秘密兵器!? その名も「地拵レーキ」。(奥は島崎和友参事) 巨大な熊手で遠くの枝条をかき寄せて地拵え作業の効率化を図っています。

したことです。「うちの山の木も主伐をしてもらえないか。」という依頼が増えてきました。

主伐は間伐と比べ作業効率も良く、搬出材積も多いことから収入が多く得られますが、反面、課題もあります。地拵えの経費が大きく、植樹による再造林に二の足を踏む森林所有者がいることです。地拵え費用への補助金の嵩上げなどの支援があれば、再造林の意欲を持つ森林所有者の後押しになると感じています。

主伐と併せた一貫作業による機械地拵えなどでコストを抑える努力を行い、地域の森林を健全な姿で将来に引き継げるよう頑張っています。



カラマツが元気に育つ主伐・再造林現場。手前は平成29年度、左手奥は平成30年度の施業地です。

【佐久地域振興局林務課】



# コラム 苗木を知ろう！ (第1回)

今般、森林資源の充実と木材利用の広がりにより、長野県内でも皆伐再造林が少しずつ進んでいます。その際には、苗木を植えると思いが、苗木の歴史や特性、現場での生産方法や技術開発の状況などは、あまり知られていないようです。そこで、今回から半年ほど苗木に関する様々な話題を紹介することとして、まず苗木の歴史や特性について紹介します。

私たちが普段使っている苗木は、畑に種を播いて発芽させ、2〜3年ほどかけて育てたものです。県内で最も植えられた「カラマツ」は、江戸時代の初期から植林された記録がありますが、当時は山に生えている稚苗を掘り取る「山引苗」を使っていました。今のような種から苗木を作る技術が確立したのは江戸時代の後期のことで、カラマツ苗木生産の歴史は200年に達していません。スギやヒノキの苗木生産についても、技術が確立したのは江戸時代の初期といわれており、それほど古いものではありません。



コンテナ苗の生産状況

現在使われる苗木の大きさは、苗高50cm程度が標準です、大きな苗木を植栽すると、下刈り回数を削減できる可能性があります。地上部が大きい苗木は、地下部も大きく発達することが多いため、大きな苗木ほど重く、植穴も大きくなり効率的ではありません。なお、苗木を選ぶときは、下刈りの事を考えて地上部の大きさに気を取られがちですが、地下部が貧弱だと、植栽後に枯れたり、生育不良になることが多いので、苗木を選ぶときは地下部がしっかりしたものを選ぶことが大切です。コンテナ苗では、コンテナ部全体に根が回り、新根が発達している根元の直径が太いものを選んでください。

【林業総合センター 指導部】

# 「令和元年度レーザーセンシング情報によるスマート林業技術検討会」を開催しました

森林資源を効率的に把握するレーザー計測技術を学ぶため、信州大学や北信森林管理署、北信州森林組合などによる「令和元年度レーザーセンシング情報によるスマート精密林業技術現地検討会」が八月六日に木島平村の住郷山国有林で開催され、県内の林業関係者ら約七十名が参加しました。

検討会の前半では、ドローンを使った上空からのレーザー計測を上演したほか、地上からのレーザー計測データを組み合わせた森林の3次元画像が公開されました。3次元画像からは、立木の高さや太さ、曲りや枝振りが一目で分かり、森林資源の詳細な把握が可能です。

後半では、IOTハーベスタの実演が行われました。IOTハーベスタは、GPS等の各種センサーにより移動経路や伐採した木材情報などが記録できるとともに、事前に登録されたデータから最適な玉切りをアシストしてくれます。

昨今のスマート技術の進歩は目覚ましく、林業分野も例外ではありません。これらの技術は森林管理や作業の効率化・高度化に繋がるものと期待されています。今後、更なるスマート技術の発展・普及により【林業】の有り方が変わる、そんな未来も近いかもしれません。

【信州の木活用課】



IOTハーベスタ



森林の3次元画像



# 活用しよう。

近年、毎年のように過去に例のない  
自然災害が発生しています。  
主伐期を迎えた森林、再造林地に安心を。

森林保険は手厚い補償※で  
皆様の森林をお守りします。

ご加入はお近くの森林組合へ

※  
1ha 加入時の例

樹種	林齢	加入年数	保険金額（補償額）	保険料（掛け金）
カラマツ	1年生	1年	800,000円	3,432円
ヒノキ	51年生	5年	4,500,000円	65,205円

お問い合わせ先 TEL:026-226-2504 長野県森林組合連合会

# 森林保険を

## 伐木等の業務（則36-8）特別教育修了者を対象とした 補講（2.5時間）を実施しています！

先に、当冊子（6月10日発行No.353）において、労働安全衛生規則の改正に伴い9月頃から補講を実施する旨お伝えしましたが、その補講の実施予定が決まりましたのでお知らせします。

現行の伐木等業務の特別教育（則36-8：16時間講習）は、令和2年7月末日まで有効ですが、8月1日以降は無効となり、新たな適用カリキュラム（18時間講習）が有効となります。そのため、現行の特別教育修了者に対する経過措置として、補講（2.5時間）を受けることにより、令和2年8月1日又は補講受講後のいずれか遅い方の日付以降に有効になるとされたところです。

受講もれないようご注意ください。

令和元年度（9月～）補講 開催日程をお知らせします！

月	開催年月日	会場	定員	備考
9	R元. 9.25	水 小諸市 市民交流センター	午前・午後各100名	終了(A:90名, P:64名)
	R元. 9.27	金 安曇野市 もくりゅう館	〃	終了(A:75名, P:43名)
10	R元.10. 3	木 木曾町 県木曾合庁講堂	〃	受付終了
	R元.10. 8	火 諏訪市 諏訪合庁講堂	〃	〃
	R元.10.21	月 木曾町 県木曾合庁講堂	〃	〃
11	R元.11. 8	金 塩尻市 総合文化センター	〃	〃
	R元.11.19	火 上田市 上小森林センター	〃	〃
	R元.11.21	木 長野市 県長野合庁別館大会議室	〃	〃
12	R元.11.25	月 伊那市 伊那商工会議所	〃	〃
	R元.12. 6	金 飯田市 県飯田消費生活センター	〃	〃
	R元.12. 9	月 飯田市 県飯田合庁講堂	〃	〃
	R元.12.13	金 中野市 県北信合庁講堂	〃	〃
	R元.12.17	火 大町市 県大町合庁講堂	〃	〃
1	R元.12.24	火 佐久市 県佐久合庁講堂	〃	〃
	R2. 1. 9	木 塩尻市 総合文化センター	〃	〃
2	R2. 1.21	火 長野市 県長野合庁別館大会議室	〃	〃
	R2. 2. 7	金 上田市 上小森林センター	〃	〃
3	R2. 2.19	水 小海町 小海町総合センター大会議室	〃	〃
	R2. 3. 6	金 伊那市 伊那商工会議所	〃	〃

※ 上記計画は変更する場合がありますので、ご承知おきください。

※ また、人数によっては出張講習も行いますので、お気軽にご相談ください。

※ 4月以降も実施する予定ですので、日程が決まり次第お知らせします。

【問合せ先】 林業・木材製造業労働災害防止協会長野県支部 ☎026-227-0327



### 長野県林業職員協会 基本問題研究会開催

令和元年9月12日～13日の二日間、令和元年度林業基本問題研究会(主催：長野県林業職員協会)が開催されました。初日は、今年度山梨県の身延町で稼働した(株)キーテック山梨工場を見学しました。(株)キーテック山梨工場は、合板の生産に特化した工場で、国産材100%にこだわり、山梨県を中心に隣県から丸太の調達を行っています。県内からも、長野県森連や東信木材センター協が協定を結び、アカマツやカラマツ、スギを納入しています。工場内の土場は、20,000m<sup>2</sup>程度の原木ストックが可能で、納入業者及び樹種別に積積する列をわけて管理を行っています。

工場では、毎月10,000m<sup>2</sup>の原木を合板に加工しており、乾燥等が必要となる熱源はすべて製材時のバークや端材等で賄っているとのことでした。工場の設備はオートメーション化が進んでおり、従業員は、工場内でほぼ木に触ることなく加工が可能であるため、一人で複数の工程を受け持っていました。(株)キーテックでは、原料となる丸太の確保可能量に加えて、国内

の合板需要の動向を見据えた生産量の設定を行っており、需給マッチングの重要性を再認識する研修となりました。

二日目は、静岡県に移動し、昨年静岡市にオープンした、日本平夢テラスおよび一昨年富士宮市にオープンした、富士山世界遺産センターを視察しました。いずれも静岡県産材をふんだんに使用した建築物で、木材利用におけるデザインが果たす役割や活用用途の拡大に向けた知見を深めることができました。



日本平夢テラス



キーテック山梨工場見学

### 森林保険 損害填補事例紹介

森林組合系統では、新植の際や間伐実施に合わせ、森林保険への加入をお勧めしているところで

す。森林保険に加入いただいている林分が罹災(火災・風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害・噴火災)した際は、県森連及び森林組合の職員が、損害調査に伺います。

損害調査では、現地ですべてに林分調査を行って、罹災の程度と面積を把握します。このデータを基に、森林研究・整備機構森林保険センターが審査を行い、保険金が支払われます。所有する森林で災害が起きた際は、森林保険加入の有無をご確認の上、お近くの森林組合へご報告ください。



#### 記念市開催のお知らせ

- 北信木材センター 10月23日
- 中信木材センター 11月18日
- 伊那木材センター 11月19日

今年も高品質材が出品されます。買い方の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

#### 森林保険罹災填補事例

	事例1	事例2	事例3	事例4
森林所在地	北相木村	岡谷市	上田市	朝日村
災害発生日	2018年2月8日	2016年1月30日	2017年10月23日	2016年1月30日
災害名	凍害	雪害(雨水害)	風害	雪害(雨水害)
樹種	カラマツ	ヒノキ	カラマツ	カラマツ
災害時林齢(年生)	2	22	40	54
実損面積(ha)	1.28	0.45	1.12	2.16
付保率(%)	100	100	43	100
支払われた保険金(円)	1,024,000	1,078,650	857,248	3,866,400

# 長野県の木材市況

令和元年十月十日発行 長野の林業通巻三五七号

発行 長野の林業編集委員会  
長野市岡田町長野県林業センター内  
電話〇二六(二三七)五〇二五  
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

電話〇二六(二三六)五六二〇  
Eメール rinfukyo@gga.ocn.ne.jp

## 第1029回 市況表

(令和元年10月1日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	12,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	15,000	14,000	
		直	24~30	15,000	10,000	
ひのき	4.0	直	14~16	12,000	9,000	直造材でお願いします。出品をお願いします。
		直	18~22	18,000	12,000	
		直	24~28	16,500	12,000	
ひのき	5.0	元	40	48,000		良材高値。
		直	18~22	25,000		
ひのき	6.0	元	34	45,000		良材高値。
		直	16	10,000	8,000	
すぎ	3.0	直	18~22	11,000	8,000	4m (φ24cm~φ36cm)
		直	18~22	12,000	8,600	
すぎ	4.0	直	24~28	11,000	8,600	直材限り需要あり。
		直	30上	14,000	9,000	
もみ	4.0	直	18上	10,000	7,000	安定的な需要あり。
かや	5.0	直	38	80,000		良材高値。
なら	4.0	込	30上	13,000	9,500	安定的な需要あり。
		込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~22	23,000	14,000	
からまつ	4.0	込	18上	14,000	10,500	価格安定。出品願います。

出品量 1,306㎡ 販売量 1,305㎡ 落札率 99% 買い方 25社

出品にご協力いただきありがとうございました。今回の市売りでは、ひのき、元玉長材に高値が付き、並材も価格が安定してきました。広葉樹にしても、季節的な欠点が少なくなり、良材には高値がつかます。さくら等伐採される方はご連絡ください。また、11月19日(火)には当センターの周年記念市を行います。太物、良材の伐採予定の方は出品よろしくお願います。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。  
(\*安全のため、荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくお願います)

## 第1031回 市況表

(令和元年9月30日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
すぎ	4.0~6.0	直	30上	20,000	12,000	
		直	30上	20,000	12,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格安定。
		直	18~28	19,000	14,000	
ひのき	3.0~4.0	元	32~50	90,000	23,000	
		込	6~13	12,000	8,000	
からまつ	4.0	直	14~18	13,000	10,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入をお願いします。
		直	20上	16,000	12,000	
		曲	14~18	6,000	5,000	
		曲	20~40	13,000	7,000	
からまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	秋需要に期待。
		込	24~34	18,000	8,000	
いちい	2.0~4.0	剥り	14~24	10,000	2,000	
くり	4.0~7.0	込	20~48	35,000	13,000	
とち	3.0~4.0	込	18~34	22,000	12,000	入札活発です。ご購入下さい。
くらみ	4.0	込	20~42	15,500	12,000	
なら	4.0	込	18~34	13,000	12,000	
からまつ	2.0~4.0	込	26~50	32,000	12,000	

出品量 3,215㎡ 販売量 2,355㎡ 落札率 73% 買い方 28社

今回、広葉樹中心の市売りとなり、入札活発な市となりました。引き続きご購入下さい。又、11月18日(月)には開設記念市を予定しております。ご協力お願いいたします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

## 第1063回 市況表

(令和元年9月25日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
		込	8~13	5,500	4,500	需要あり。積極的に出品願います。
すぎ	4.0	直	14~20	12,500	10,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	22~28	14,000	11,500	需要あり。積極的に出品願います。
		直	30上	18,000	12,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	8,000	5,500	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	20上	11,000	8,500	需要あり。積極的に出品願います。
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000	需要あり。
		直	14~18	12,500	9,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	20上	16,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	30上	20,000	14,500	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000	需要あり。積極的に出品願います。
ひのき	3.0	直	18~22	22,300	15,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	16~18	17,000	14,000	需要増。出品願います。
		直	20~28	28,000	15,000	需要増。出品願います。
		直	30上	56,000	16,000	問合せ増。出品願います。
		曲	20上	14,500	12,000	

出品量 5,492㎡ 販売量 5,409㎡ 落札率 98% 買い方 40社

今回は、前回市から間もない開催となりましたが、秋晴れの清々しい青空の元多くのお客様にご来場いただき、賑やかな市売りとなりました。市況としまして、カラマツについては高値で安定しており、今後もこの価格は続く見込みとなっております。スギについては横ばい傾向が続いている状況ですが、良材には高値が見られました。どちらも引き続き、丁寧な造材にてご出品をお願い致します。以前よりお願いいたします剥皮による測尺の狂いにも十分ご注意ください。広葉樹については、季節的に良い時期になってきました。徐々に需要も期待されます。広葉樹全般出品をお願い致します。もし伐採される場合には、事前のご相談をお願いします。いよいよ次回は木材センターの開設61周年記念市が開催されます。早速準備に取りかかっていますので、良材のご出品について改めてご協力をお願いします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の)納品書の提出をお願いします。

## 第515回 木材共販市況表

(令和元年9月19日実施)



出品量 950㎡・買い方 13社・落札率 92.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	元直	26~36	18,900	12,500	3,500	
		直	14	12,000	8,000	2,240	
		元直	16	13,000	11,000	3,080	
		込	18~24	18,000	16,000	4,480	
		込	26~28	16,500	15,000	4,200	
		込	30上	18,700	16,000	4,480	
		中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	16,000	15,000	4,200	
		すぎ	4.0	元直	16~22	18,500	17,000
元	24~28			20,500	18,500	5,180	
30上	26,300			20,000	5,600		
中直	12~14			12,000	8,000	2,240	
込	16~22			15,500	15,000	4,200	
すぎ	4.0	込	24~28	17,500	15,000	4,200	
		12下	360	300		一本単価	
すぎ	4.0	込直	16~18	9,500	8,000	2,240	
		込直	20~22	10,000	9,500	2,660	
		30上	11,000	9,850	2,758		
すぎ	3.0	30上	12,000	10,200	2,856		
		直	18~22	9,000	8,000	2,240	
すぎ	3.0	直	24~32	9,500	8,500	2,380	
		直	14~22	7,500	5,500	1,540	
からまつ	4.0	込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
からまつ	4.0	込	18~28	13,000	11,500	3,220	
		直	30上	13,500	12,000	3,360	
からまつ	4.0	小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
		直	12下	320	270		一本単価

総評  
全体に出材少なく、低調。ひのき、出荷少なく、価格伸びず。すぎ、引き合いはあるが、出荷量少なく、質も悪いため価格はやや下がる。からまつ引き合いあり、価格は横ばい。引き続き出荷の協力をお願いいたします。